

# 政務活動費（ 会 派 名 ）出張報告書

氏 名 菅原 明 濱岡 歳生 酒本 哲也	用 務 第 80 回 全国都市問題会議
期 間 平成 30 年 10 月 11 日から 平成 30 年 10 月 12 日まで	出張先 長岡市 シティホールプラザ アオーレ長岡

## 調査事項・意見

9:50～ 基調講演 「地方分権へのまなざし」

東京大学史料編纂所教授 本郷和人 氏

日本は昔から中央集権か？「私たちは古代の昔から日本は統一国家であった」という歴史教育を受けてきた。「一つの民族、ひとつの言葉、そして一つの国家」を形成してきたのが日本であるとの説明を受ける。

本当に日本は古くから、都を核としてまとまる中央集権のくにだったのか？との考えが述べられた。

統一貨幣の流通は、国が対立する上でだいじなようそである。しかし、もっと重要なのは、和同開珎が日本の隅々まで浸透していたわけではないという史実である。

日本列島に本当の意味での貨幣経済が浸透したのは鎌倉時代であるとの考えが述べられた。

日本の歴史は天皇の歴史であるとともに、武士の歴史でもある。日本列島の各地で誕生し、勢力を強めていった武士たちはどのように支配圏を拡大していったのか。

戦国大名が優勝劣敗を繰り返すうち、日本列島全体を網羅する統一権力が生まれ、豊臣秀吉や織田信長が主導されたとの考えが述べられた。

11:00～ 主報告 「長岡市の市民協働」

長岡市長 磯田達伸 氏

はじめに長岡市の現在（人口や、交通アクセス等）、歴史を紹介頂き本題に入る。協働によるまちづくりについて、理念、市民と行政が共同出来る仕組みや環境整備などを具体的に推進するため、平成 24 年 6 月に市民協働条例を制定したそうである。観光拠点における市民協働に関しては、与板地域に「与板☆中川清兵衛記念 BBQ ビール園をオープンするなど、地域連携や地域資源の活用による、観光・交流人、インバウンドの拡大を加速しているとの報告を受ける。

13:10～ 一般報告 「市民との対話と連携で進める津市の公共施設マネジメント」

津市長 前葉泰幸 氏

津市は明治 22 年に日本で初めて市政を施工した 31 市の一つである等、紹介を受け、津市の斎場「いつくしみの杜」、一般廃棄物最終処分場、津市産業・スポーツセンターの入札不調等の問題等、報告江尾受ける。

大規模公共施設が直面した課題を解決し、過去からの経緯が生み出す第三セクターの経営問題を公共施設マネジメントの手法を使い、乗り越え、地域住民の関心の高いテーマである文教施設の統合を、知恵を絞ってやり遂げ、新しい時代のコミュニティ施設やエリア再編を、市民の手で青写真を描く津市の取り組みを述べられた。

14:40～ 一般報告 「場所の時代」

建築家・東京大学教授 隅 研吾 氏

〔アオーレ長岡の発注者 森 民生 氏〕

〔アオーレ長岡での市民協働の実践 アートディレクター 森本 千絵 氏〕

徹底して場所にこだわって設計する建築。その場所でしか手に入らない材料を使い、場所を熟知した職人の手を使い、その地の気候、環境と調和し人々が本当に必要としている建築物を作ることが使命であるとのべられた。

3.11 を経た日本では、逆に、同切断するのではなく、どうつなぐかがテーマとなる。その難しい問題にみんなで一緒に挑戦してみたい。場所と建築がつながり、響きあうことができれば、自然と人が集まり、コミュニティが育ってくる。

大きい建築にはそういう力があり、そういう可能性があるからこそ、苦勞して大きい建築に取り組んでいると述べられた。

2日目

9:30～ パネルディスカッション

テーマ

「市民協働による公共の拠点づくり」

(長岡市) コーディネーター)

明治大学政治経済学部地域行政委学科長 牛山 久仁彦 氏

(パネリスト)

東京理科大学理工学部建築学科教授 伊藤 香織 氏

NPO 法人子育て広場全国連絡協議会理事長 奥山 千鶴子 氏

長岡国際交流センター「地球広場」センター長 羽賀 友信 氏

埼玉県和光市長 松本武洋 氏

高知県須崎市長 楠瀬 耕作 氏

伊藤氏より、「シビックプライドとは」奥山氏より、「子育て支援からみた公共の拠点づくり」羽賀氏より、「長岡の市民主体の街づくり」和光市長より、「地域包括ケアを支える新たな拠点づくり」須崎市長より、「人・モノ・金の高環境を目指して」の報告を受けた。

特に、シビックプライドについては、「都市に対する市民の誇り」と直訳されるが、各地で郷土愛を述べる市民は少なくない。

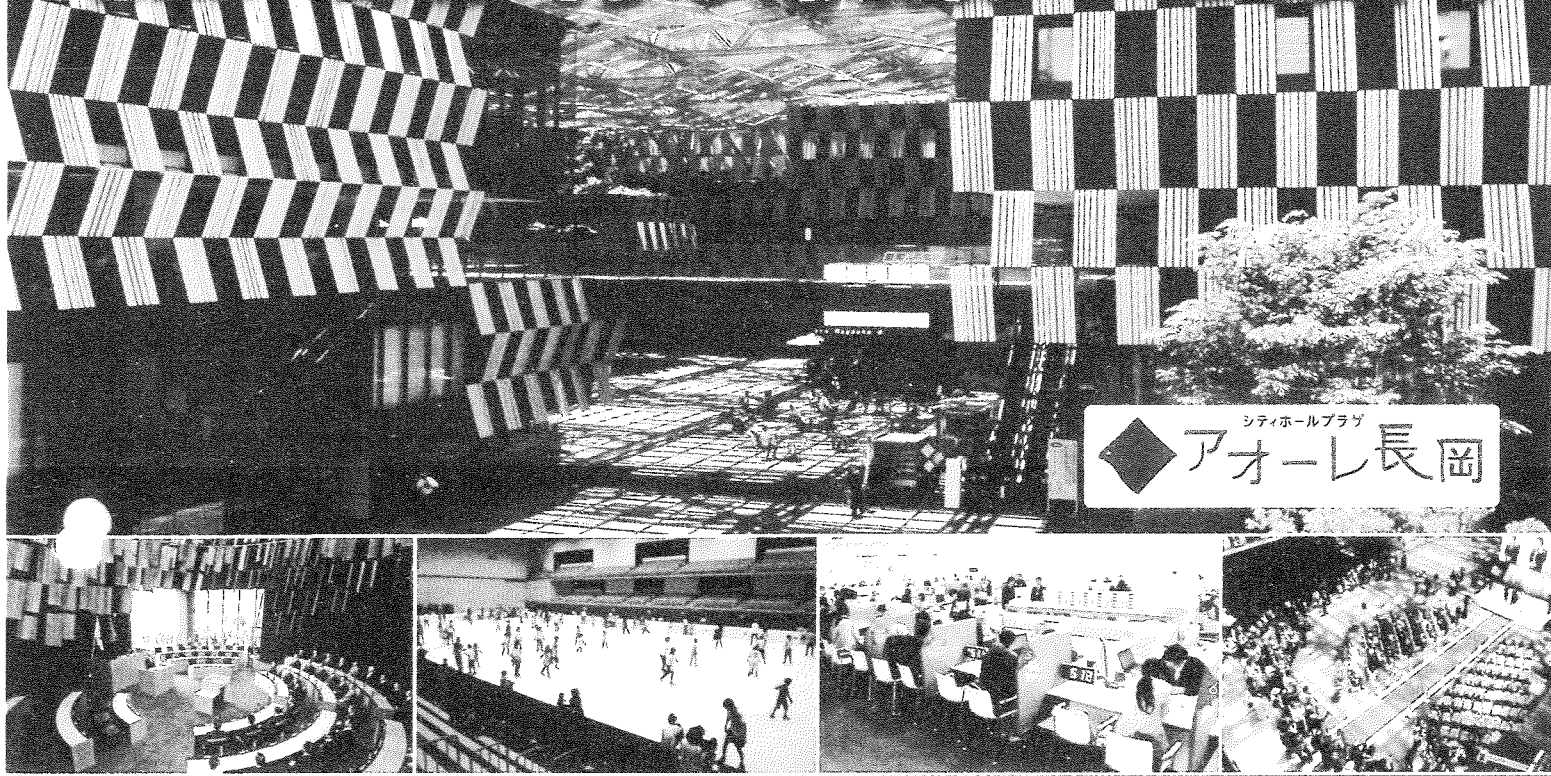
シビックプライドはデザインできないが、コミュニケーションポイントはデザインできる。「都市の需要のされ方」(共感する=アイデンティティを感じる)

及びそれに対応した「デザイン対象」(情報=空間)のそれぞれの観点から2軸上に整理する。

シビックプライド熟成のためにはこれらのコミュニケーションポイントを意識的にデザインし、戦略的に組み合わせる事が重要であると述べられた。

長岡市のオリジナル施策

# ながおか行政視察のご案内



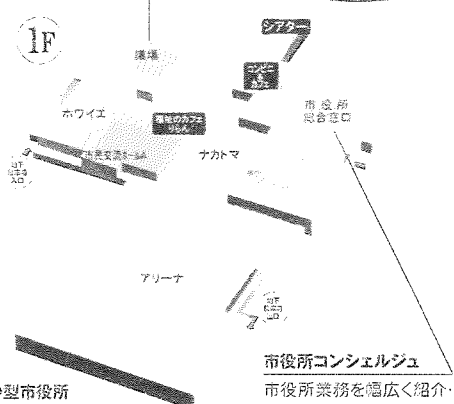
シティホールプラザ  
**アオーレ長岡**

## 「ナカドマ(屋根付き広場)」「アリーナ」「市役所」が 一体となった、全国初の新公共施設「アオーレ長岡」

シティホールプラザ「アオーレ長岡」は、ナカドマ(屋根付き広場)を中心に、アリーナ、市民交流スペース、市役所、議会が渾然一体に溶け合う、全く新しいコンセプトの公共空間です。無限の可能性を秘めたこの空間は、市民が自由な息で使いこなしていくことによって、限りなく成長していきます。

オープンから6年  
**800万人**が来場  
**約4万5千人**が視察

**会議場**  
 市民に開かれた議会を目指し、ナカドマに面した1階に配置!



**まちなか型市役所**  
 コンパクトシティの考え方を実践。まちなかに溶け込む市役所を実現。

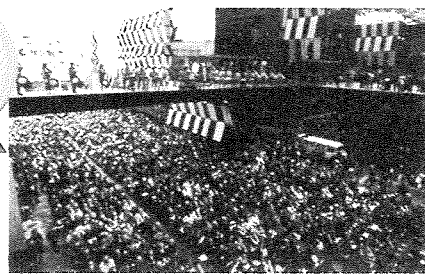
**市役所コンシェルジュ**  
 市役所業務を幅広く紹介・案内し、訪れる方を総合的にサポート!

**受賞実績**

**2014年 日本建築学会賞**  
 開かれた公共施設、市民協働・交流の実現が高い評価。利用する市民の想いと活動がカタチになって実現した受賞

**2014年 日本都市計画学会賞**  
 公共施設と民間の再開発事業が運動したまちなかの賑わいづくりに高い評価

**第55回BCS賞**  
 市民の力で成長を続けるアオーレ長岡がまちなかの賑わい創出に大きな役割を果たしていることに高い評価



設計者 隈 研吾さん  
 2020年東京五輪パラリンピックのメインスタジアムを手掛ける建築家。市民に開かれた施設というコンセプトや和の感覚、環境調整手法など、新国立競技場とアオーレ長岡の共通点も注目です。

**ここがポイント!**

- 大手スカイデッキでJR長岡駅と直結……雨や雪の日でも、駅から濡れることなくアオーレ長岡を訪れることができます。
- ナカドマ(屋根付き広場)……天気を気にせず利用できる全天候型の巨大空間。自由な発想で利用可能な「ハレの場」です。
- アリーナ……大開口扉を開ければ、ナカドマとの一体的な利用が可能に。最大約5,000人収容のエンターテインメントスペースです。
- シアター……公共施設で全国初!3D・4K映像を採用。240インチスクリーンで迫力の映像を体感できます。
- アオーレモデルの運営……NPO法人による柔軟な施設運営。

アオーレ長岡については… <http://www.ao-re.jp/>

**お問い合わせ** アオーレ交流課 Tel.0258-39-2288 E-mail aore@city.nagaoka.lg.jp

# 第80回全国都市問題会議 会議案内

期 日：平成30年10月11日(木)・12日(金)

会 場：長岡市 シティホールプラザ アオーレ長岡

(主 催)

全 国 市 長 会

公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所

公益財団法人 日本都市センター

長 岡 市

(協 賛)

公益財団法人 全 国 市 長 会 館